



ふれあい、さわやか

山梨中央銀行

第45回

インフォメーション・ミーティング

2023年12月6日（水）株式会社 山梨中央銀行

付属資料集

付属資料

当行プロフィール	3
2023年度中間決算の概況	4
自己資本比率の状況	7
資本配賦の状況	8
従業員数・店舗数の推移	9
預金の状況	10
貸出金の状況	12
業種別貸出金（ローンポートフォリオ）	14
規模別・地域別貸出金残高（未残）	15
リスク管理債権及び金融再生法開示債権	16
債務者区分の遷移	19
預金・貸出金シェアの状況（山梨県内）	20
有価証券ポートフォリオ	21
地域別融資RAROAの状況	23
新型コロナウイルス感染症への対応	24
グループ会社一覧	25

山梨県の経済

山梨県内の地場産業	27
最近の県内経済動向	28
山梨県経済の特性・構造	35
山梨県の県勢・経済指標	40

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

会社概要 (2023年9月末現在)

創業	1877年(明治10年)4月
創立	1941年(昭和16年)12月
本店所在地	甲府市丸の内1丁目20番8号
資本金	154億円
従業員数	1,635人
営業店舗数	本支店89 (うちインターネット支店 1) 出張所10 (うちライフスクエア8) (山梨 78、東京 19、神奈川 2)

指定金融機関受託状況 山梨県、県内27市町村中23市町村



経営理念

「地域密着と健全経営」

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼していただける健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めてまいります。

2023年度中間決算の概況 ①

(百万円、%)		21/9期	22/9期	23/9期	22/9期－21/9期		23/9期－22/9期	
					増 減	増減率	増 減	増減率
平 残	資金運用勘定	3,508,019	4,065,758	4,016,871	557,739	15.89	△48,887	△1.20
	うち貸出金	1,900,044	2,068,698	2,335,199	168,654	8.87	266,501	12.88
	有価証券	1,266,764	1,361,096	1,090,507	94,332	7.44	△270,589	△19.88
	コールローン	2,686	2,310	1,757	△376	△13.99	△553	△23.93
	預け金(除無利息分)	319,499	614,129	568,605	294,630	92.21	△45,524	△7.41
	資金調達勘定	4,106,741	4,655,464	4,341,311	548,723	13.36	△314,153	△6.74
	うち預金等	3,420,204	3,551,291	3,638,660	131,087	3.83	87,369	2.46
	コールマネー	97,907	331,614	155,409	233,707	238.70	△176,205	△53.13
	(参考)金銭の信託	5,000	5,166	4,096	166	3.32	△1,070	△20.71

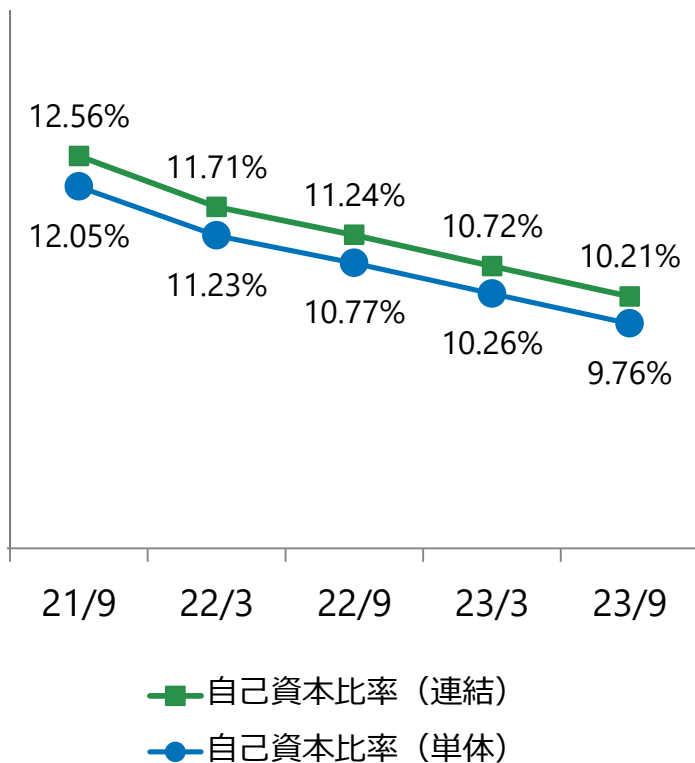
2023年度中間決算の概況 ②

(%)	21/9期	22/9期	23/9期	22/9期－21/9期		23/9期－22/9期	
				増 減	増減率	増 減	増減率
利 回 ・ 利 鞘	資金運用利回	0.77	0.78	0.74	0.01		△0.04
	うち貸出金利回	0.88	0.87	0.89	△0.01		0.02
	有価証券利回	0.77	0.94	0.73	0.17		△0.21
	コールローン利回	0.07	1.57	5.10	1.50		3.53
	預け金利回	0.10	0.14	0.11	0.04		△0.03
	資金調達利回	0.00	0.02	0.01	0.02		△0.01
	うち預金等利回	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	コールマネー利回	△0.01	△0.01	△0.04	0.00		△0.03
	借入金利回	0.00	0.00	—	0.00		0.00
	経費率	0.74	0.68	0.67	△0.06		△0.01
	資金調達原価	0.63	0.54	0.58	△0.09		0.04
	預貸金利回差	0.88	0.87	0.89	△0.01		0.02
	資金運用・調達利回差	0.77	0.76	0.73	△0.01		△0.03
	預貸金利鞘	0.13	0.19	0.21	0.06		0.02
総資金利鞘	0.14	0.24	0.16	0.10		△0.08	

2023年度中間決算の概況 ③

(百万円、%)	21/9期	22/9期	23/9期	22/9期－21/9期		23/9期－22/9期	
				増 減	増減率	増 減	増減率
資金利益	13,363	15,534	14,637	2,171	16.24	△897	△5.77
うち貸出金利息	8,409	9,107	10,529	698	8.30	1,422	15.61
有価証券利息	4,930	6,427	3,999	1,497	30.36	△2,428	△37.77
コールローン利息	0	18	45	18	—	27	150.00
預け金利息	163	458	319	295	180.98	△139	△30.34
役務取引等利益	3,213	3,232	3,914	19	0.59	682	21.10
その他業務利益	△1,951	△4,415	△7,089	△2,464	△126.29	△2,674	△60.56
うち国債等債券関係損益	△1,881	△3,564	△6,476	△1,683	△89.47	△2,912	△81.70
一般貸倒引当金繰入額	△613	88	—	701	114.35	△88	△100.00
損 経費	12,857	12,121	12,337	△736	△5.72	216	1.78
益 業務純益	2,381	2,141	△874	△240	△10.07	△3,015	△140.82
修正業務純益	1,767	2,229	△874	462	26.14	△3,103	△139.21
コア業務純益	3,649	5,794	5,601	2,145	58.78	△193	△3.33
除く投信解約損益	3,649	5,611	5,601	1,962	53.76	△10	△0.17
臨時損益	△67	1,881	3,884	1,948	2,907.46	2,003	106.48
うち貸倒引当金戻入額	—	—	985	—	—	985	—
株式等関係損益	882	2,001	2,656	1,119	126.87	655	32.73
不良債権処理額	1,316	181	—	△1,135	△86.24	△181	△100.00
経常利益	2,313	4,023	3,009	1,710	73.92	△1,014	△25.20
特別損益	△48	30	△22	78	162.50	△52	△173.33
法人税、住民税及び事業税	1,001	1,200	130	199	19.88	△1,070	△89.16
法人税等調整額	△310	67	226	377	121.61	159	237.31
当期純利益	1,574	2,786	2,630	1,212	77.00	△156	△5.59

自己資本比率の推移



自己資本額の内訳 (単体)

(億円)

	21/9	22/3	22/9	23/3	23/9
自己資本額	1,792	1,800	1,810	1,821	1,821
リスク・アセット等	14,868	16,024	16,806	17,755	18,646

リスク・アセット等の算出方法

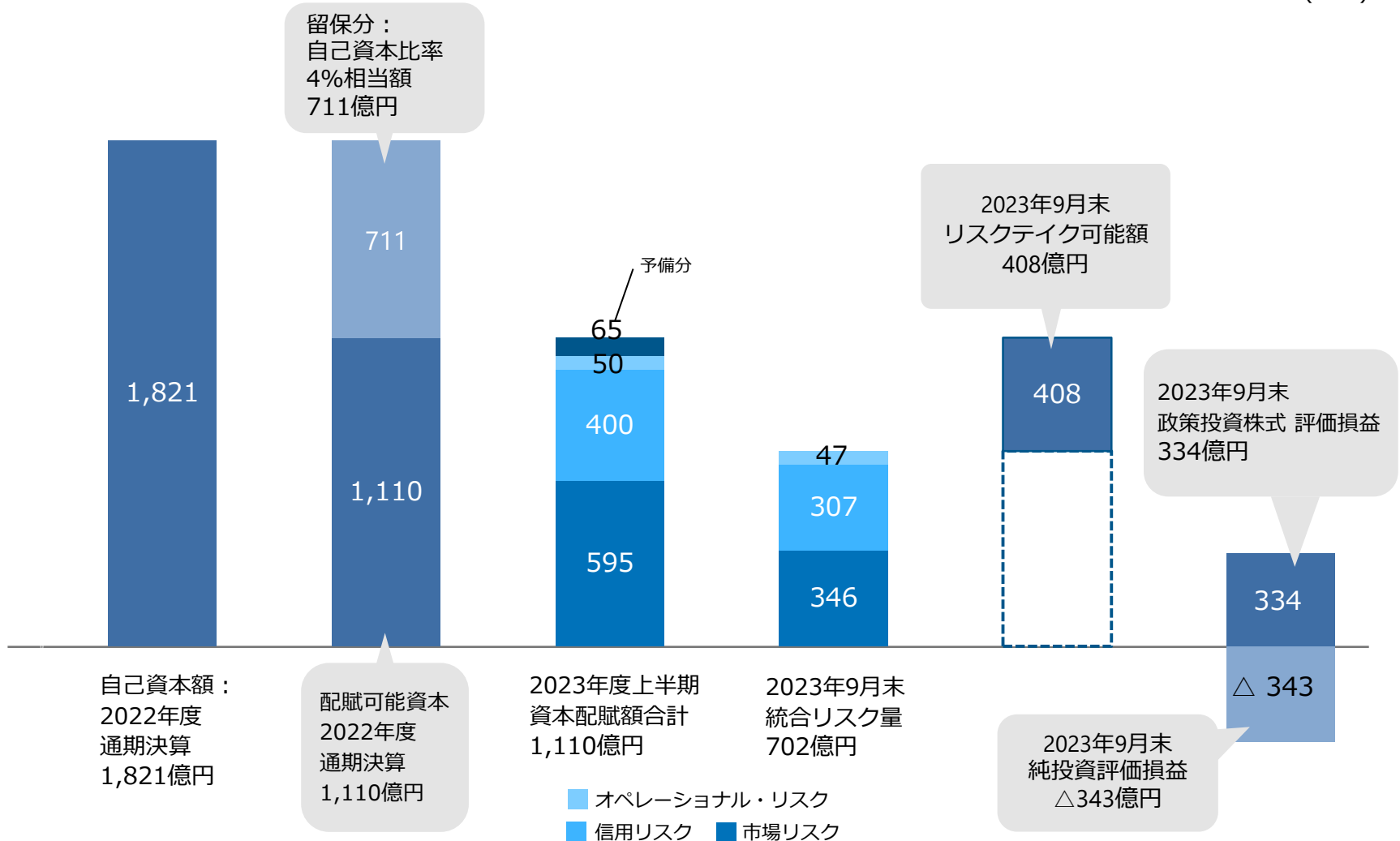
信用リスク	標準的手法
オペレーション・リスク	粗利益配分手法

参考：銀行勘定の金利リスク(23/9期末)

金利リスク量	287億円
自己資本の額	1,821億円
銀行勘定の金利リスク(IRRBB)	15.7%

* コア預金の算定に内部モデルを使用しております。

(億円)



(人、店、か所)

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	23/9 14/3比 増減	
従業員数	1,699	1,675	1,677	1,685	1,737	1,726	1,681	1,660	1,655	1,639	1,635	△64
パートタイマー	691	672	678	711	714	686	689	677	680	686	682	△9
店舗数 (含む2出張所)	90	90	91	91	92	92	92	92	92	91	91	1
単独店	41	41	42	42	41	41	35	27	22	17	15	△26
エリア/フルバンキング店	21	21	21	21	21	21	22	25	24	26	27	6
エリア/機能特定店、非対面店	28	28	28	28	30	30	35	40	46	48	49	21
実質的な営業拠点数 (支店内支店を1とカウント)	89	89	90	90	87	86	82	78	78	77	76	△13
法人営業所	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	△1
ライフスクエア	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	1
店舗外ATMコーナー数	129	130	133	135	141	142	144	138	119	110	97	△13

※1 機能特定店は、サテライト店・エリア特定店および非対面店(インターネット富士山支店)の合計です。

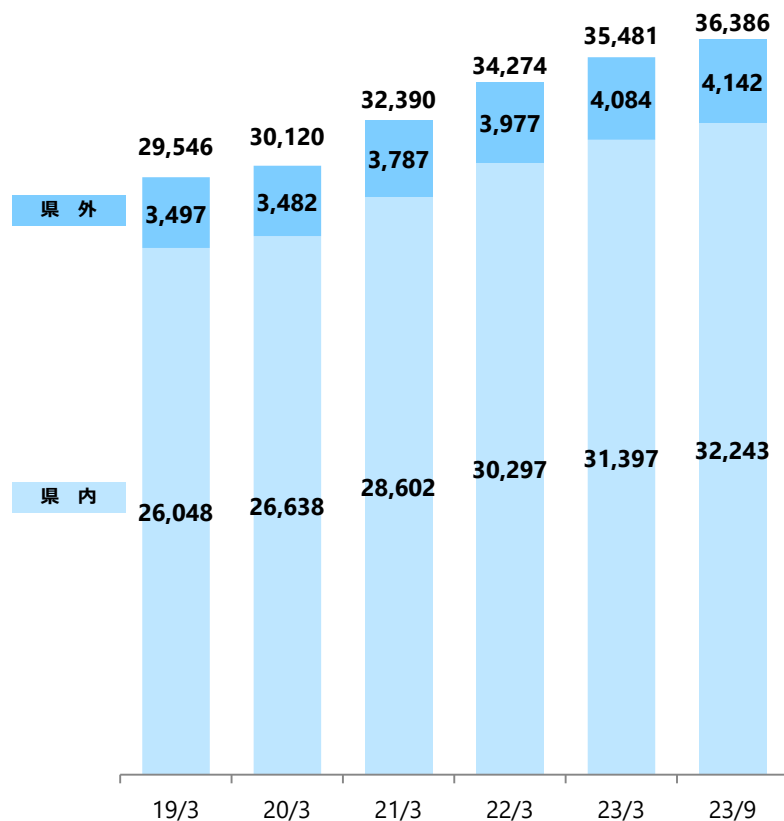
※2 支店内支店は以下の通りです。中央市場支店(国母支店内)、住吉支店(南支店内)、千塚支店(湯村支店内)、春日居支店(石和支店内)、禾生支店(都留支店内)、東山梨支店(日下部支店内)、中道支店(城南支店内)、北新支店(武田通支店内)、竜ヶ丘支店(吉田支店内)、甲西支店(小笠原支店内)、高根支店(長坂支店内)、鰍沢支店(青柳支店内)、吉祥寺支店(狹窪支店内)、小金井支店(国分寺支店内)

※3 店舗外ATMコーナー数にはセブン銀行との共同ATMは含んでおりません。

1. 平残

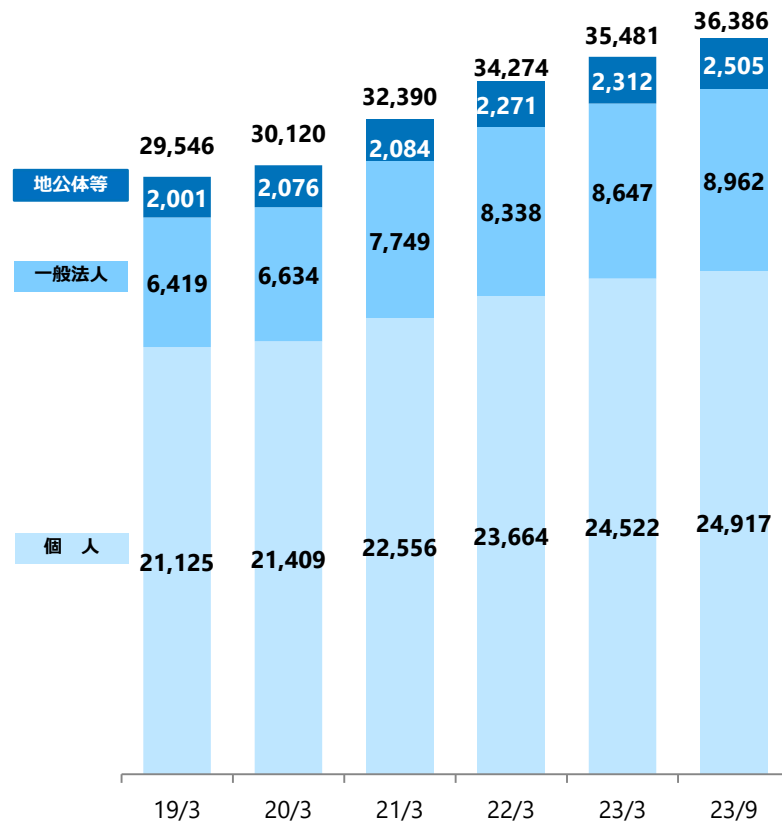
01 地域別

(億円)



02 マーケット別

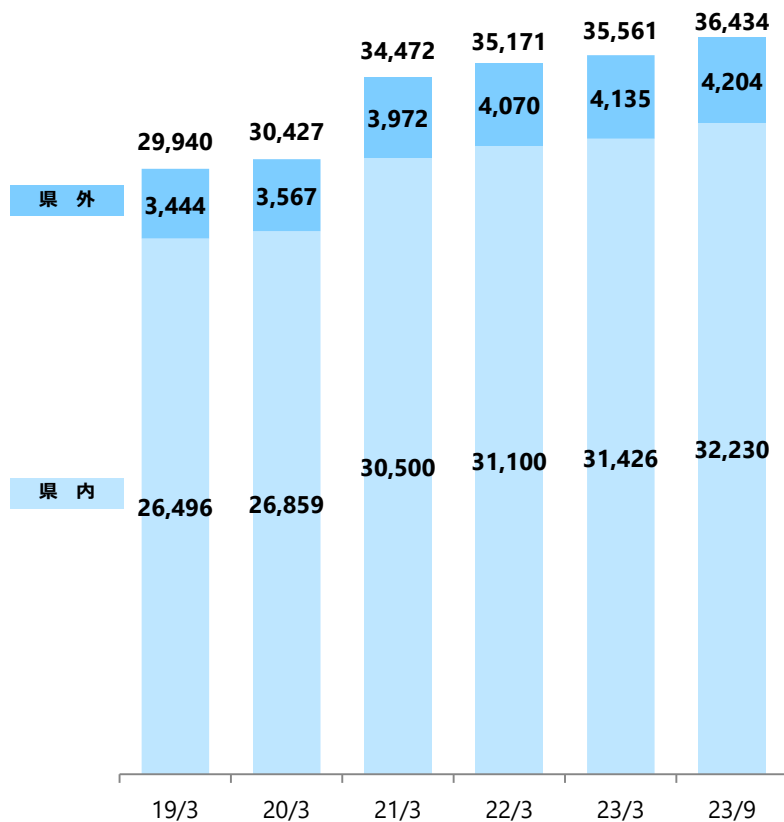
(億円)



2. 未残

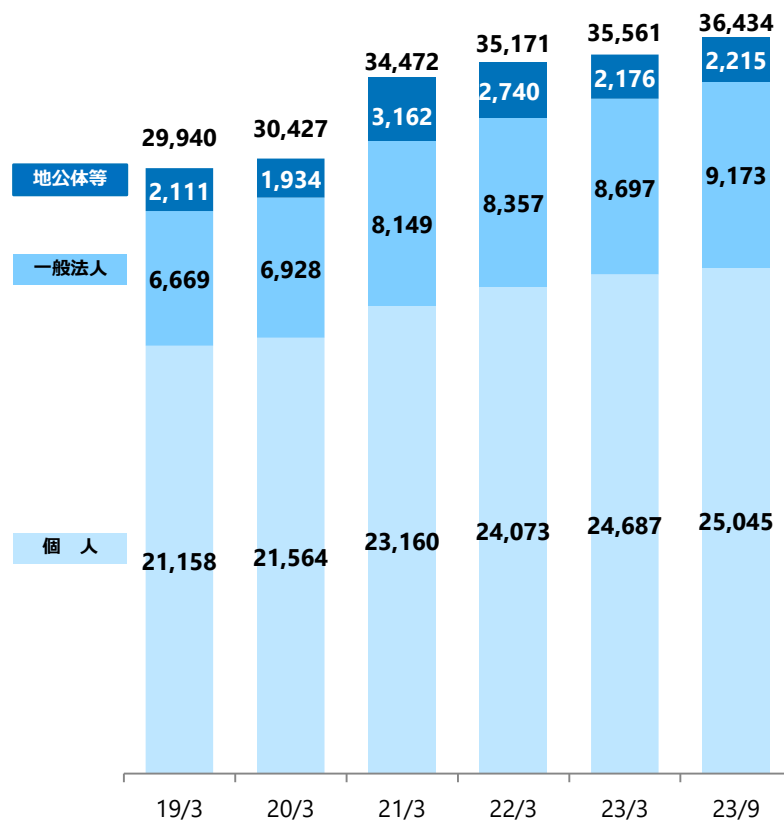
01 地域別

(億円)



02 マーケット別

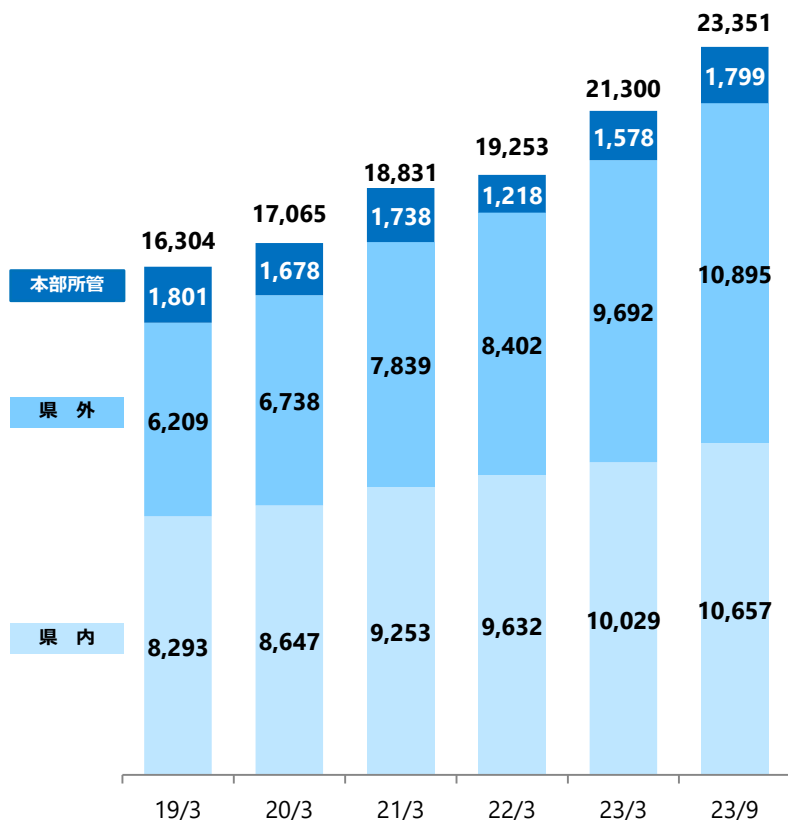
(億円)



1. 平残

01 地域別

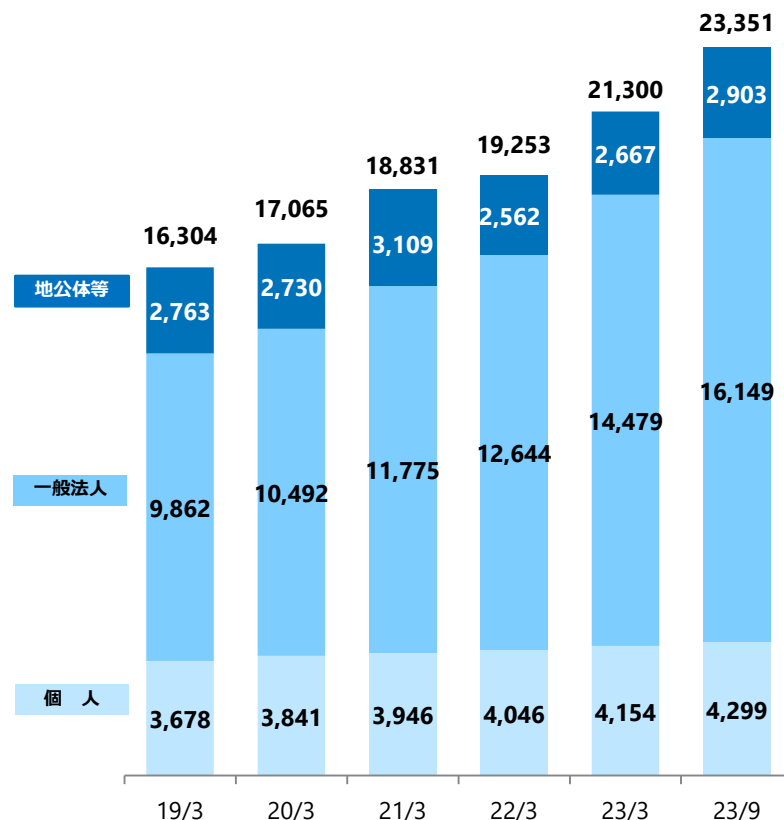
(億円)



(注)本部所管は、財務省向貸出、譲受債権および山梨県当貸等をいう。

02 マーケット別

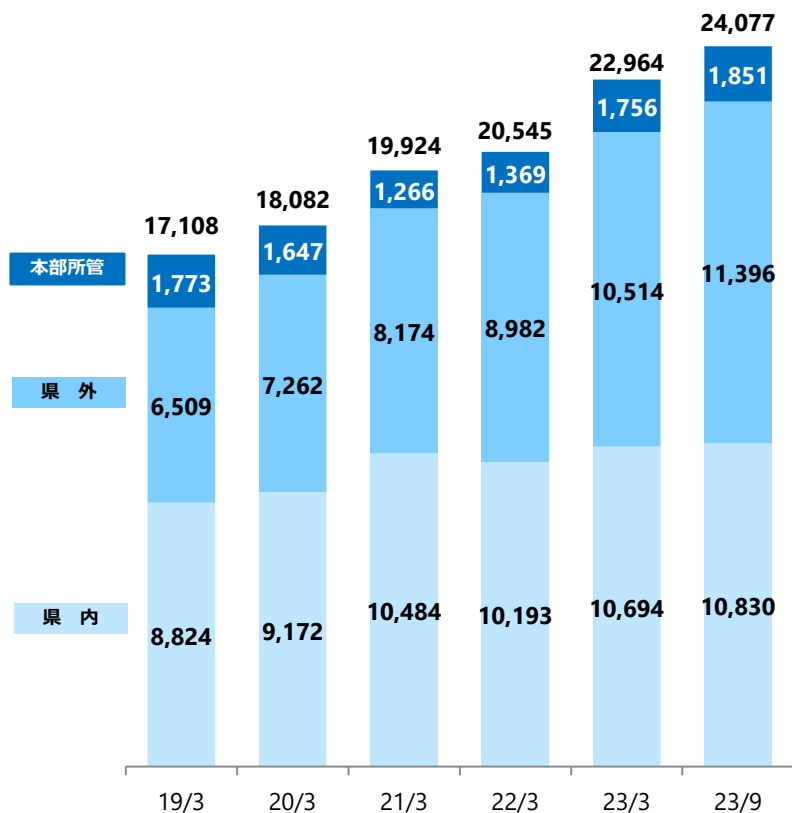
(億円)



2. 未残

01 地域別

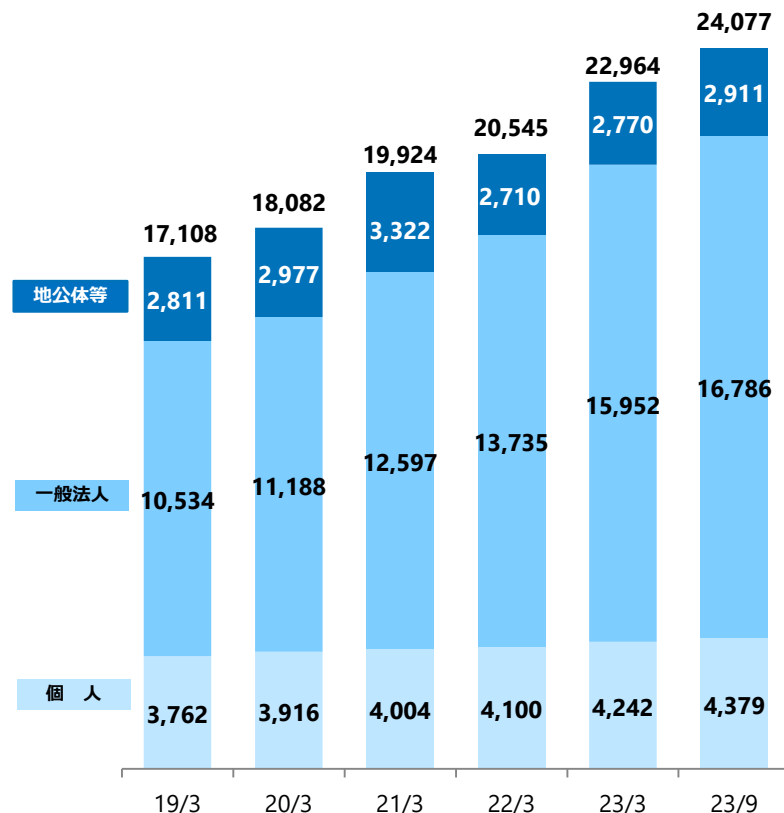
(億円)



(注)本部所管は、財務省向貸出、譲受債権および山梨県当貸等をいう。

02 マーケット別

(億円)



業種別貸出金(ローンポートフォリオ)

(金額単位：百万円)

	23/3		23/9		前期比増減	
	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比
製造業	283,704	12.4%	298,421	12.4%	14,717	0.0P
農業、林業	4,296	0.2%	5,876	0.2%	1,580	0.0P
漁業	15	0.0%	14	0.0%	△1	0.0P
鉱業、採石業、砂利採取業	1,684	0.1%	1,513	0.1%	△171	0.0P
建設業	52,339	2.3%	54,167	2.2%	1,828	△0.1P
電気・ガス・熱供給・水道業	51,505	2.2%	51,902	2.2%	397	0.0P
情報通信業	21,868	1.0%	23,815	1.0%	1,947	0.0P
運輸業、郵便業	155,296	6.7%	158,413	6.6%	3,117	△0.1P
卸売業、小売業	172,569	7.5%	172,070	7.1%	△499	△0.4P
金融業、保険業	138,713	6.0%	156,553	6.5%	17,840	0.5P
不動産業、物品賃貸業	496,717	21.6%	535,362	22.2%	38,645	0.6P
不動産業	393,302	17.1%	440,800	18.3%	47,498	1.2P
地方公社	18,451	0.8%	4,510	0.2%	△13,941	△0.6P
物品賃貸業	84,964	3.7%	90,051	3.7%	5,087	0.0P
その他サービス業	188,747	8.2%	191,987	8.0%	3,240	△0.2P
国・地方公共団体	277,032	12.1%	291,187	12.1%	14,155	0.0P
その他（個人）	451,986	19.7%	466,486	19.4%	14,500	△0.3P
貸出金合計	2,296,478	100.0%	2,407,772	100.0%	111,294	—

規模別・地域別貸出金残高（未残）

(億円、%、ポイント)

		全体			県内			県外			本部所管貸出			県内+本部所管貸出		
		23/3	23/9		23/3	23/9		23/3	23/9		23/3	23/9		23/3	23/9	
				前期比			前期比			前期比			前期比			前期比
国 地方公共団体	残高	2,770	2,911	141	2,539	2,686	147	11	11	0	219	214	△5	2,758	2,900	142
	構成比	12.1%	12.0%	△0.1%	23.7%	24.7%	1.1%	0.1%	0.0%	△0.1%	12.5%	11.5%	△1.0%	22.2%	22.8%	0.6%
事業性	残高	15,675	16,499	824	4,814	4,767	△47	9,323	10,095	772	1,536	1,635	99	6,350	6,402	52
	構成比	68.2%	68.5%	0.3%	45.0%	44.0%	△1.0%	88.7%	88.5%	△0.2%	87.5%	88.3%	0.8%	51.0%	50.4%	△0.6%
大企業	残高	5,957	6,479	522	418	557	139	4,702	5,084	382	837	837	0	1,255	1,394	139
	構成比	25.9%	26.9%	1.0%	3.9%	5.1%	1.2%	44.7%	44.6%	△0.1%	47.7%	45.2%	△2.5%	10.1%	10.9%	0.8%
中堅企業	残高	210	244	34	54	54	0	155	190	35	-	-	-	54	54	0
	構成比	0.9%	1.0%	0.1%	0.5%	0.4%	△0.1%	1.5%	1.6%	0.1%	-	-	-	0.4%	0.4%	0.0%
中小企業	残高	9,508	9,776	268	4,342	4,156	△186	4,466	4,821	355	699	798	99	5,041	4,954	△87
	構成比	41.4%	40.6%	△0.8%	40.6%	38.3%	△2.3%	42.5%	42.3%	△0.2%	39.8%	43.1%	3.3%	40.5%	39.0%	△1.5%
非事業性 個人	残高	4,519	4,664	145	3,340	3,377	37	1,179	1,287	108	-	-	-	3,340	3,377	37
	構成比	19.7%	19.3%	△0.4%	31.2%	31.1%	△0.1%	11.2%	11.2%	0.0%	-	-	-	26.8%	26.6%	△0.2%
合計	残高	22,964	24,077	1,113	10,694	10,831	135	10,514	11,396	882	1,756	1,850	94	12,450	12,681	231
	構成比	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-

リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示

(金額単位：億円)

当行では、部分直接償却を実施していません。

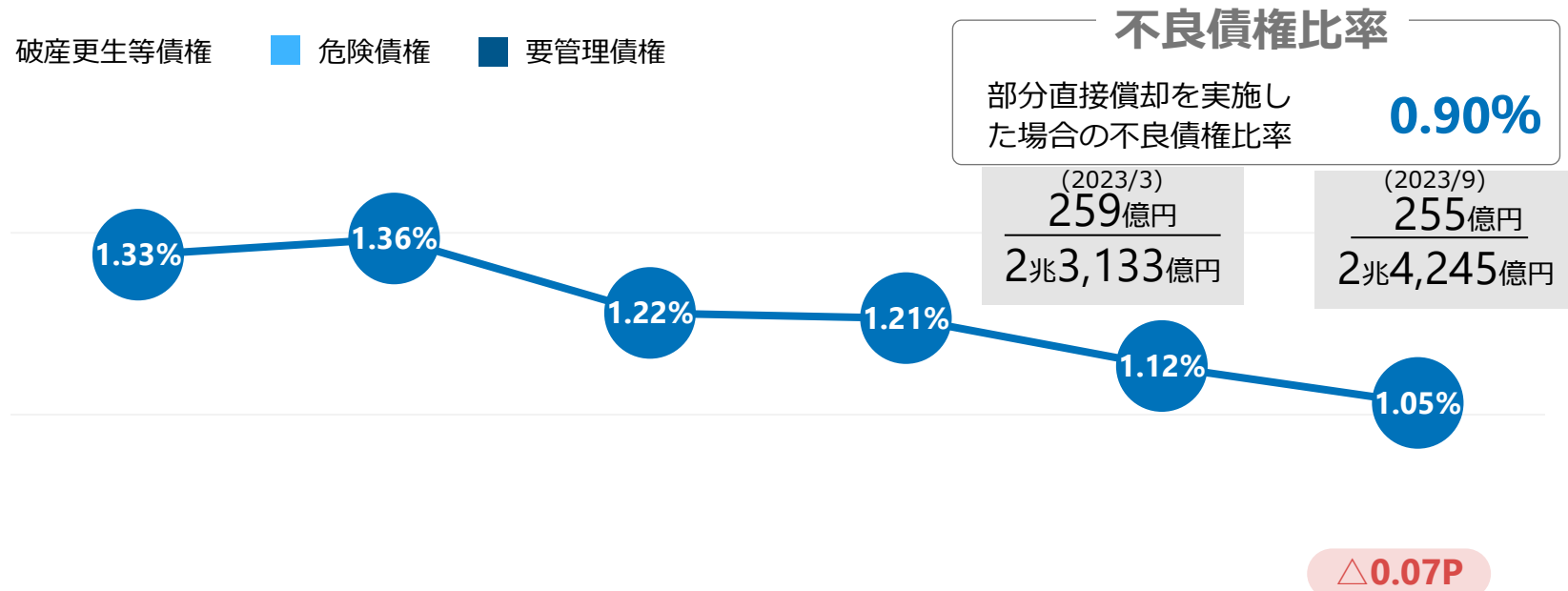
	23/3期末	23/9期末	前期比増減	23/9期末 連結
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	91	78	△12	80
危険債権	126	122	△4	122
要管理債権	42	54	12	54
三月以上延滞債権額	0	0	0	0
貸出条件緩和債権額	42	53	11	53
合計(A) (総与信残高に占める比率)	259 (1.12%)	255 (1.05%)	△4 (△0.07P)	256 (1.06%)
保全額(B)	228	218	△9	220
保全率 (B)÷(A)	88.07%	85.84%	△2.23P	85.89%

*部分直接償却を実施した場合の不良債権額(単体)は、以下のとおりとなります。

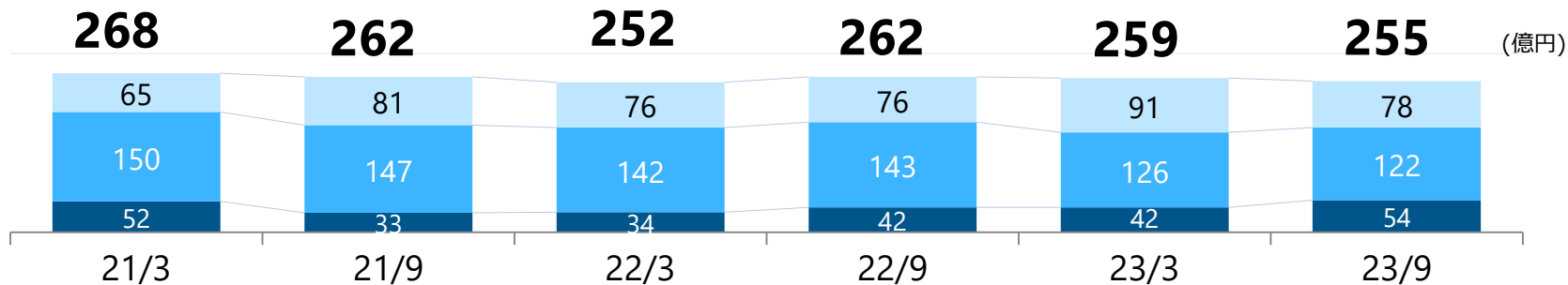
	23/9期末 部分直接償却前①	23/9期末 部分直接償却後②	増減 ② - ①
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	78	42	△36
危険債権	122	122	0
要管理債権	54	54	0
三月以上延滞債権額	0	0	0
貸出条件緩和債権額	53	53	0
合計 (総与信残高に占める比率)	255 (1.05%)	218 (0.90%)	△36 (△0.15P)

リスク管理債権及び金融再生法開示債権額・比率推移

■ 破産更生等債権
 ■ 危険債権
 ■ 要管理債権



不良債権合計



リスク管理債権及び金融再生法開示債権の保全状況

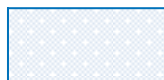
開示債権	保全状況	保全率
255 (億円)	218 (億円)	85.8%
78 破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	40 貸倒引当金 38 担保・保証等	100% 破産更生債権及びこれ らに準ずる債権
122 危険債権	11 貸倒引当金 102 担保・保証等	92.8% 危険債権
54 要管理債権	7 貸倒引当金 18 担保・保証等	49.4% 要管理債権

総与信残高ベース
(23/3期末→23/9期末)

(億円)

23/9期末

		正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	破綻懸念先 以下への 劣化比率
新規	-	952	5	-	0	-	-	
正常先	21,613	21,908	66	3	3	1	0	0.03%
その他 要注意先	1,158	62	890	16	2	1	0	0.33%
要管理先	59	-	10	48	0	-	-	0.34%
破綻懸念先	126	-	0	-	115	1	1	
実質破綻先	55	-	0	-	-	36	5	
破綻先	35	-	-	-	-	-	30	
合計	23,048	22,923	973	67	122	41	37	



下方遷移



上方遷移

* 金融再生法開示債権ベースで記載。

(残高は、貸出金・支払承諾・外国為替・与信関係仮払金・未収利息を含めた総与信残高ベース。
ただし、国・地方公共団体の残高および自己査定非抽出先は「正常先」に含めて記載。)

1. 預金シェア

(%、ポイント)

	21/3	21/9	22/3	22/9	23/3	23/9	前期比
当行	51.2	50.7	51.2	50.9	51.5	51.5	0.0
大手行	6.7	6.7	6.6	6.7	6.7	6.7	0.0
信金・信組	27.3	27.1	27.1	27.0	27.0	26.7	△ 0.3
JA	12.9	13.6	13.0	13.4	12.9	13.2	0.3
政府系ほか	1.8	1.8	1.9	1.8	1.9	1.8	△ 0.1

※ゆうちょ銀行を除く

2. 貸出金シェア

(%、ポイント)

	21/3	21/9	22/3	22/9	23/3	23/9	前期比
当行	45.8	43.9	45.2	45.1	46.2	46.5	0.3
大手行	7.2	7.0	6.8	6.8	6.6	6.7	0.1
信金・信組	28.6	29.6	28.8	28.8	28.0	27.6	△ 0.4
JA	5.3	5.7	6.0	6.3	6.6	6.8	0.2
政府系ほか	13.1	13.7	13.2	13.0	12.6	12.4	△ 0.2

<時価評価前残高の推移>

(億円、%、ポイント)

	22/3期		22/9期		23/3期		23/9期		前年同月比増減	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
国債	3,145	22.6	2,713	20.4	1,561	14.2	711	7.3	△ 2,002	△ 13.1
地方債	3,614	26.0	3,721	28.0	3,274	29.8	3,100	32.1	△ 621	4.1
社債	1,342	9.7	1,355	10.2	1,400	12.7	1,391	14.4	36	4.2
株式	273	2.0	262	2.0	252	2.3	239	2.5	△ 23	0.5
政策投資株式	207	1.5	206	1.6	200	1.8	188	2.0	△ 18	0.4
純投資株式	65	0.5	55	0.4	51	0.5	50	0.5	△ 5	0.1
投資信託等	3,981	28.7	3,765	28.3	4,111	37.4	4,206	43.5	441	15.2
外貨建債券	1,536	11.0	1,474	11.1	397	3.6	17	0.2	△ 1,457	△ 10.9
合計	13,894	100.0	13,292	100.0	10,998	100.0	9,667	100.0	△ 3,625	

<有価証券利息の推移>

(百万円、%、ポイント)

	22/3期		22/9期		23/3期		23/9期		前年同月比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
円建債券	3,558	36.3	1,762	27.4	3,495	27.8	1,150	28.7	△ 612	1.3
株式	1,065	10.9	661	10.3	1,160	9.2	627	15.7	△ 34	5.4
投資信託等	3,401	34.7	2,545	39.6	5,554	44.2	2,078	52.0	△ 467	12.4
外貨建債券	1,774	18.1	1,459	22.7	2,358	18.8	143	3.6	△ 1,316	△ 19.1
合計	9,801	100.0	6,427	100.0	12,568	100.0	3,999	100.0	△ 2,428	

<利回りの推移>

(%)

	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	前年同月比 増減 (P)
円 建 債 券	0.43	0.43	0.46	0.37	△ 0.06
株 式	3.89	4.95	4.37	4.70	△ 0.25
投 資 信 託 等	0.93	1.34	1.43	0.94	△ 0.40
円 貨 建 計	0.66	0.81	0.87	0.71	△ 0.10
外 貨 建 債 券	1.68	2.01	1.81	1.57	△ 0.44
合 計	0.74	0.94	0.96	0.73	△ 0.21

<評価損益の推移>

(億円)

	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	前年同月比 増減
円 建 債 券	△ 2	△ 64	△ 121	△ 172	△ 108
株 式	300	280	276	366	86
うち政策投資株式	266	265	272	334	69
投 資 信 託 等	1	△ 157	△ 196	△ 201	△ 44
外 貨 建 債 券	△ 62	△ 128	△ 28	0	128
合 計	236	△ 70	△ 69	△ 9	61

* 投資事業組合出資の評価損益を含む

<売買損益の推移>

(百万円)

	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	前年同月比 増減
国債等債券損益	△ 4,826	△ 3,564	△ 9,157	△ 6,476	△ 2,912
国債等債券売却益	526	3,099	6,108	1,374	△ 1,725
国債等債券売却損	3,586	6,663	15,265	6,966	303
国債等債券償却	-	-	-	-	-
国債等債券償還損	1,767	-	-	885	885
株式等関係損益	2,002	2,001	6,172	2,656	655
株式等売却益	2,330	2,077	6,306	2,795	718
株式等売却損	321	69	120	107	38
株式等償却	6	6	13	31	25
合 計	△ 2,824	△ 1,562	△ 2,984	△ 3,819	△ 2,257

<投資信託解約益・解約損の推移>

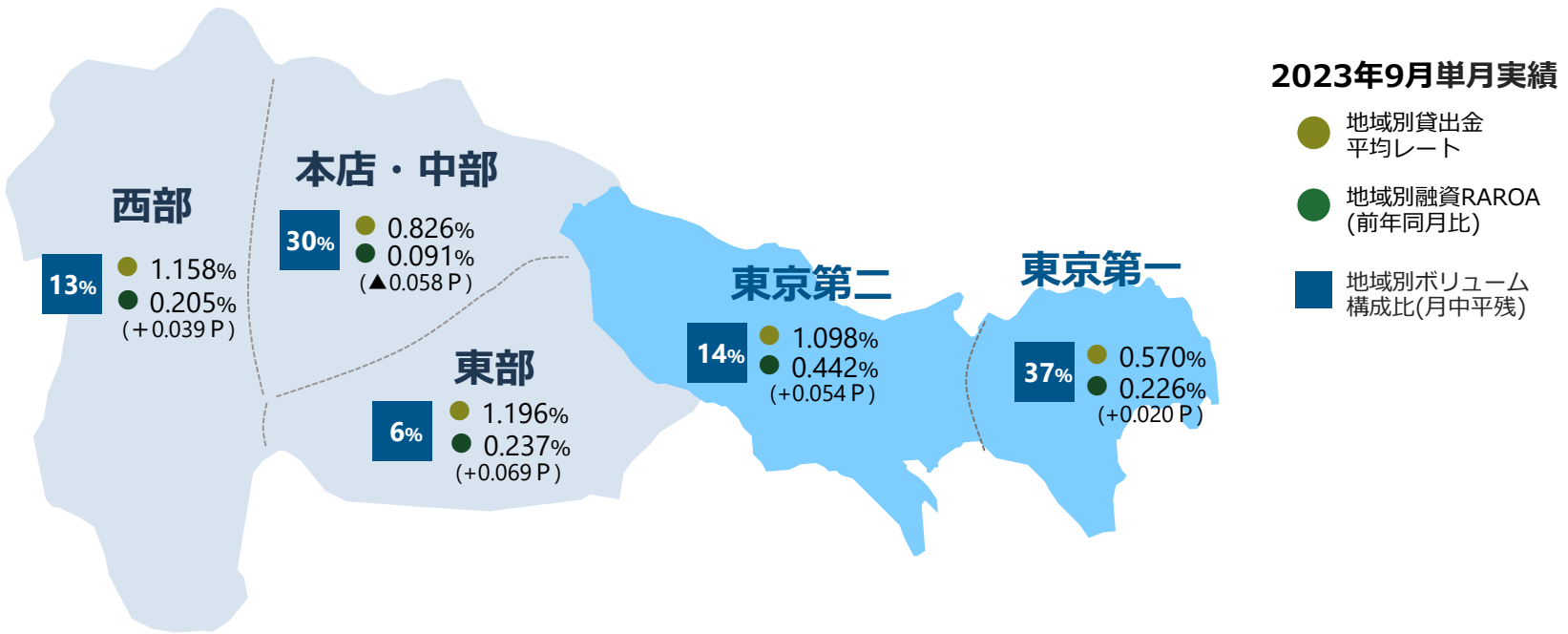
(百万円)

	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	前年同月比 増減
投資信託解約益	2,331	1,225	1,695	176	△ 1,049
投資信託解約損	4,098	1,041	1,106	1,061	20
合 計	△ 1,767	183	589	△ 885	△ 1,068

<債券修正デュレーションの推移>

	22/3期	22/9期	23/3期	23/9期	前年同月比 増減
円 建 債 券	6.2	6.1	6.7	5.9	△ 0.2
外 貨 建 債 券	5.7	5.1	6.4	3.2	△ 1.9

全体の融資RAROA : 0.214% (前年同月比 +0.008P)



融資RAROA
 貸出金に関する採算性を評価する指標
 算式：信用コスト控除後利益 / 貸出金
 * 信用コスト = 貸出金平残 × デフォルト率 × (1 - 回収率)

対象：債務者区分 正常・要注意先 (要管理先を含む)
 財務省向け貸出金・貸付債権等の本部所管貸出金は除く
 経費：貸出金に係る一般経費のほか住宅ローン団信
 保険料・消費者ローン保証料を含む

アフターコロナを見据えた企業支援の徹底

資金繰り支援・再生支援の状況

新型コロナウイルス感染症関連融資の実績

新規融資 実行件数/金額 (件/億円)			2023年9月末日時点 条件変更 実行件数/金額 (件/億円)
合計	プロパー融資	信保付融資	
5,528 / 1,375	279 / 312	5,249 / 1,062	5,545 / 1,647

**WillとSkillをもって、3S
(Smile・Speed・Simple)
対応で地域や企業の再生と
その後の再成長を推進**

お客さまとの接点強化

- 実質無利子融資の元金据置期間が徐々に終了となり、2023年4月以降、約定返済のピークを迎えている状況。経済活動も日常を取り戻しつつある一方で、エネルギー高や原材料高によるコスト上昇等の影響を受けるお客さまが多く、事業継続意欲の減退や元金返済開始後に資金繰りに窮することが予想されることから、お客さまと「接点強化」「深度ある対話」を実施し、事業状況や見通しの把握と併せて返済計画等をヒアリング。

政府系金融機関との連携・協調

- 経営計画・資金調達計画の策定支援からニーズに沿った資金供給を実施するため、日本政策金融公庫との連携体制を強化し、協調融資スキーム「新型コロナ対策 経営強化連携融資【愛称：山梨Progress】」を創設。
- 「山梨中銀資本性ローン（20）」や日本公庫の「新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付」等を活用し、お客さまの資金繰り安定化や財務体質改善をサポート。

本業支援・財務改善等の状況

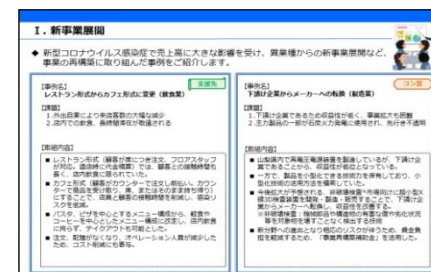
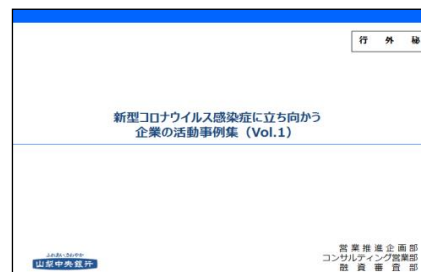
「一緒に考え、対話する」ことにより、経営者とともに課題解決に取り組む

お客さまへの本業支援の取組み

- 営業店と本部が連携し、取引先企業の売上回復・収益構造改善に向けた本業支援やビジネスモデルの再構築等、個別企業の実態に合わせたコンサルティング支援を展開。
- 新事業展開や事業・業種転換を支援する「事業再構築補助金」など国の補助金等を有効活用。
- 静岡・山梨アライアンスを活用した販路拡大支援、外部連携機関との提携拡充。

事例集の作成

- コロナ禍の劇的な経営環境の変化のなかで、お客さまが売上高や収益の回復・増加等に取り組む事例を纏めた「新型コロナウイルス感染症に立ち向かう企業の活動事例集 (Vol.1~3)」を作成（84事例を収録）。
- お客さまと対話する中で、アフターコロナを見据えた新事業展開など業績回復に向けた対応策の検討に活用。



(百万円、23/9期末)

会社名	山梨中央保証(株)	山梨中銀リース(株)	山梨中銀 「ディーシーカード」(株)	山梨中銀 経営コンサルティング(株)
設立年月日	1986年7月1日	1987年4月6日	1991年7月2日	1996年8月2日
資本金 (当行出資比率) (グループ出資比率)	20 (100.00%) (100.00%)	20 (49.25%) (80.00%)	20 (30.25%) (67.50%)	100 (45.00%) (87.50%)
事業内容	信用保証業務等	リース業務等	クレジットカード 業務等	総合コンサルティング 業務、 ベンチャーキャピタル等
営業収益	280	2,422	525	76
営業利益	175	173	13	1
経常利益	177	175	21	2
当期純利益	109	109	17	13
総資産	10,680	11,783	3,709	1,748
純資産	6,834	4,163	1,516	1,369
借入金残高 (うち、当行からの借入金残高)	— (—)	6,673 (6,297)	540 (540)	— (—)

山梨県の経済



山梨のワイン

- ・日本ワイン製成数量全国1位(※)
- ・国内ワイナリー数全国1位



絹織物



日本酒

「山梨」日本酒表示指定(国税庁)



ニット



ミネラルウォーター

出荷額全国1位



印伝



果物

葡萄・桃・すもも収穫量全国1位



和紙



貴金属・宝石製装身具製品

製造業事業所数全国1位

(※) 日本ワイン：国産ぶどうのみを原料とし、日本国内で製造された果実酒

出典：山梨県HP、経済構造実態調査 等

概況

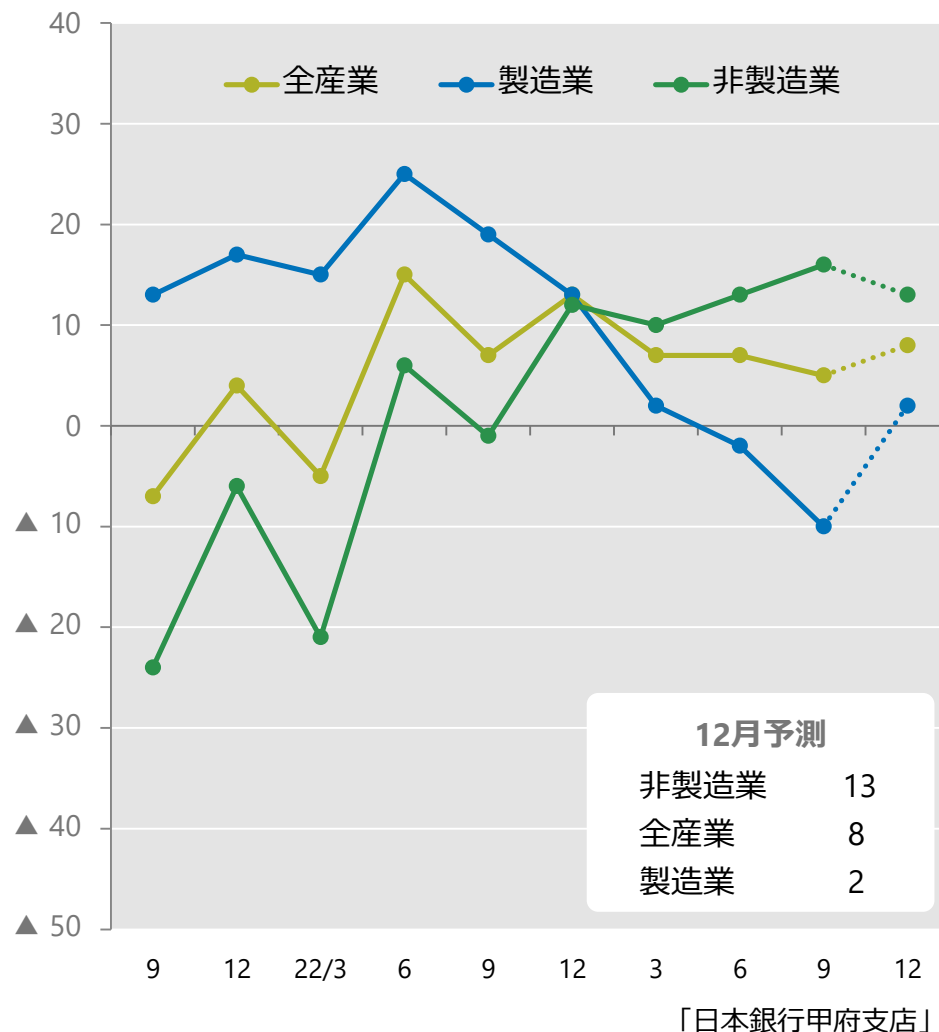
山梨県の景気（9月～10月）は、基調としては緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる。需要面においては、個人消費が持ち直している一方、設備投資は慎重姿勢が窺われる。生産面においては、機械工業が弱含みで推移している。

日銀短観業況D.I.をみると、海外経済の減速により、製造業の景況感が悪化している一方、感染症の影響が和らぐなか、非製造業は改善している。先行きについて、製造業は改善、非製造業は悪化を見込んでいる。

日銀短観業況判断D.I.(県内)

	6月	9月	12月(予測)
全産業	7	5	8
製造業	▲2	▲10	2
非製造業	13	16	13

日銀短観業況判断D.I.(県内)



【需要動向】

食料品が堅調に推移しているほか、気温の低下に伴い衣料品にも動きがみられるなど、持ち直している。

設備投資は、建築費高止まりの影響もあり、慎重姿勢が窺われる。

① 個人消費

・ 大型小売店売上

物価上昇による影響を受けつつも、経済活動の活発化により、全体としては堅調に推移している。

・ 新車登録台数

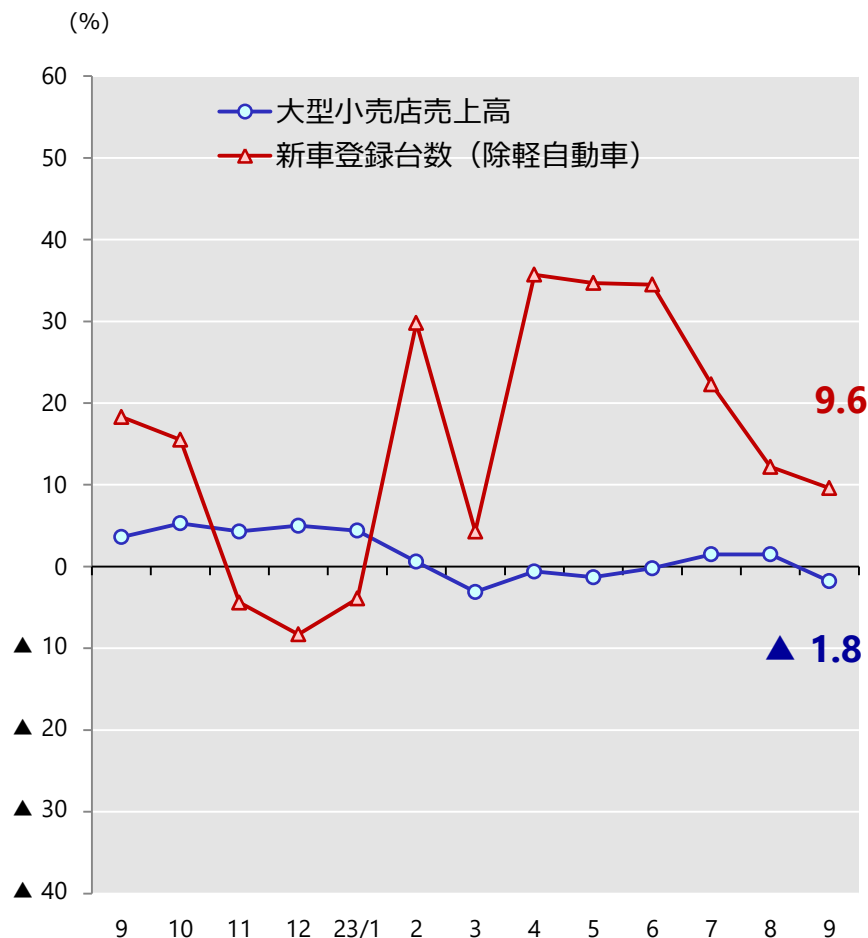
供給制約の影響が緩和され、前年を上回る水準で推移している。

・ 観光 ・ レジャー

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されるなか、各種支援策やインバウンド需要の回復もあり、改善の動きが強まっている。

9月の県内観光は、好天に恵まれ、各地で前年を上回る賑わい。

需要動向①（前年比増減率）



「経済産業省」、「日本自動車販売協会連合会」

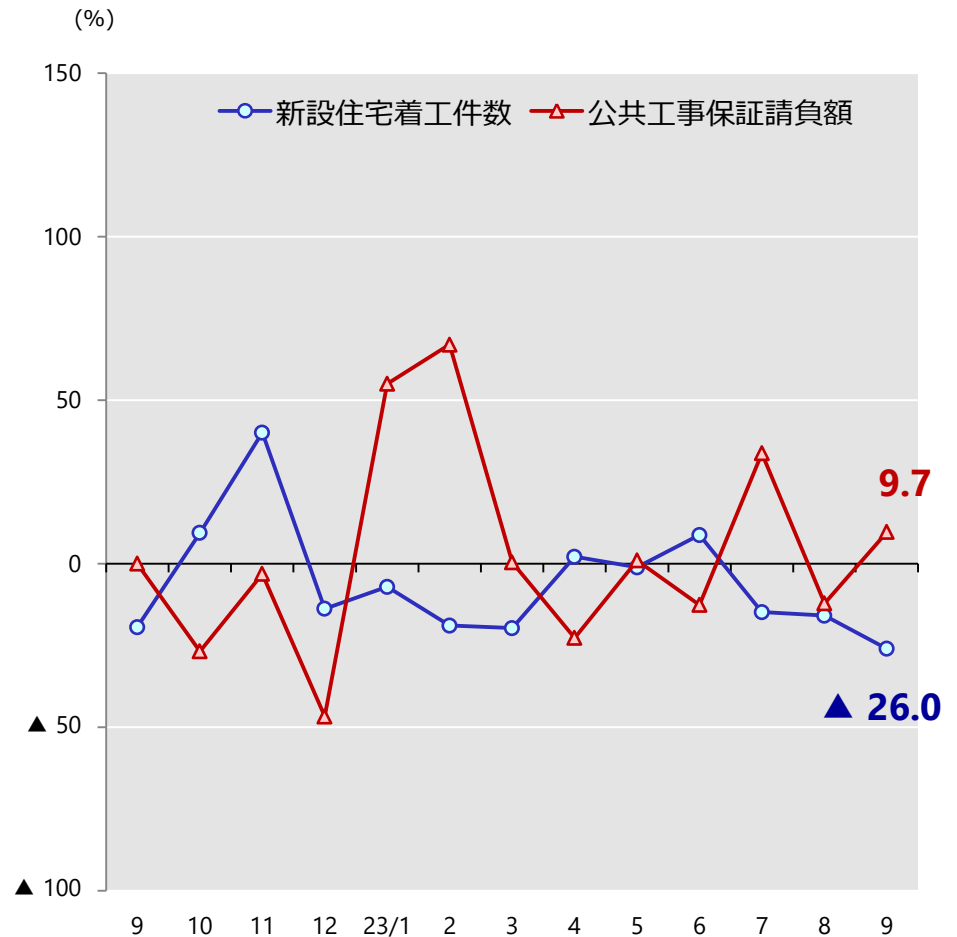
② 住宅建設

新設住宅着工件数は、住宅価格の上昇が下押し圧力となり、前年を下回る水準で推移している。

③ 公共工事

周期的に増減を繰り返しているが、全体としては例年並みの水準となっている。

需要動向②（前年比増減率）



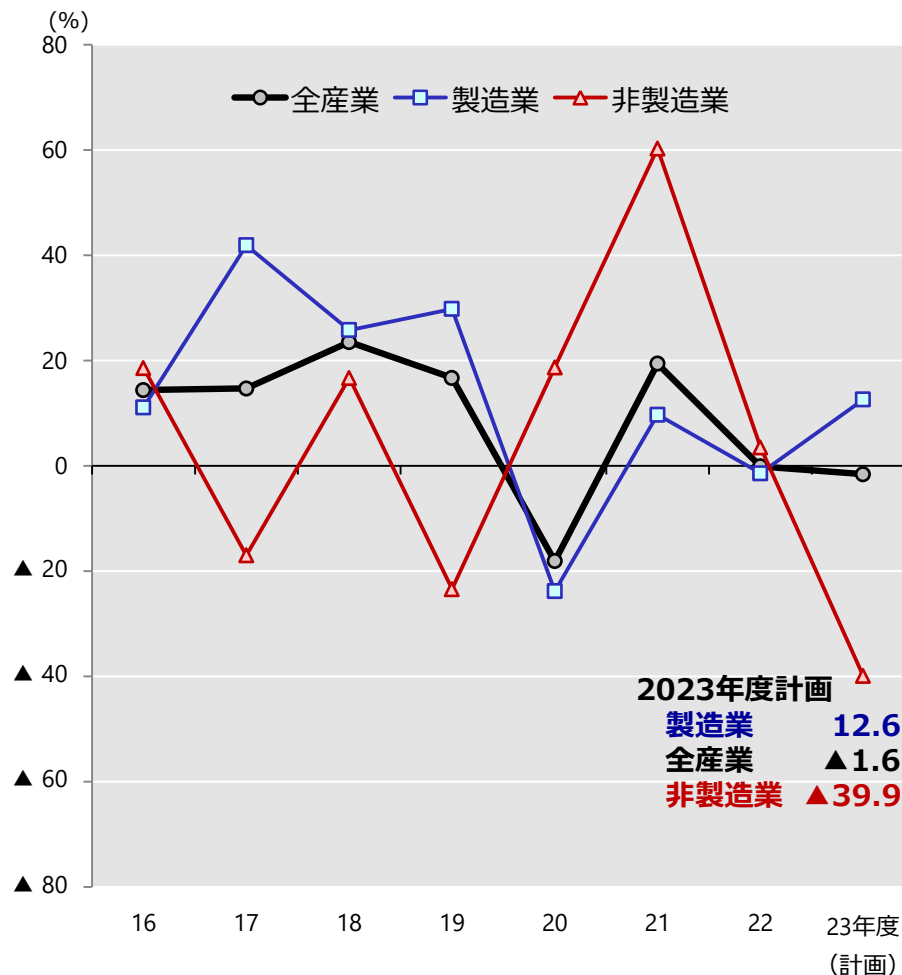
「国土交通省」、「東日本建設業保証㈱」

④ 設備投資

設備投資は、景気の先行き懸念や建築価格高騰などの影響により慎重姿勢が窺われる。

なお、日銀短観（9月調査）によると、2023年度は製造業が前年度を上回る計画となっている一方、非製造業は前年度を下回る計画となっている。

県内設備投資動向（日銀短観）（前年度比増減率）



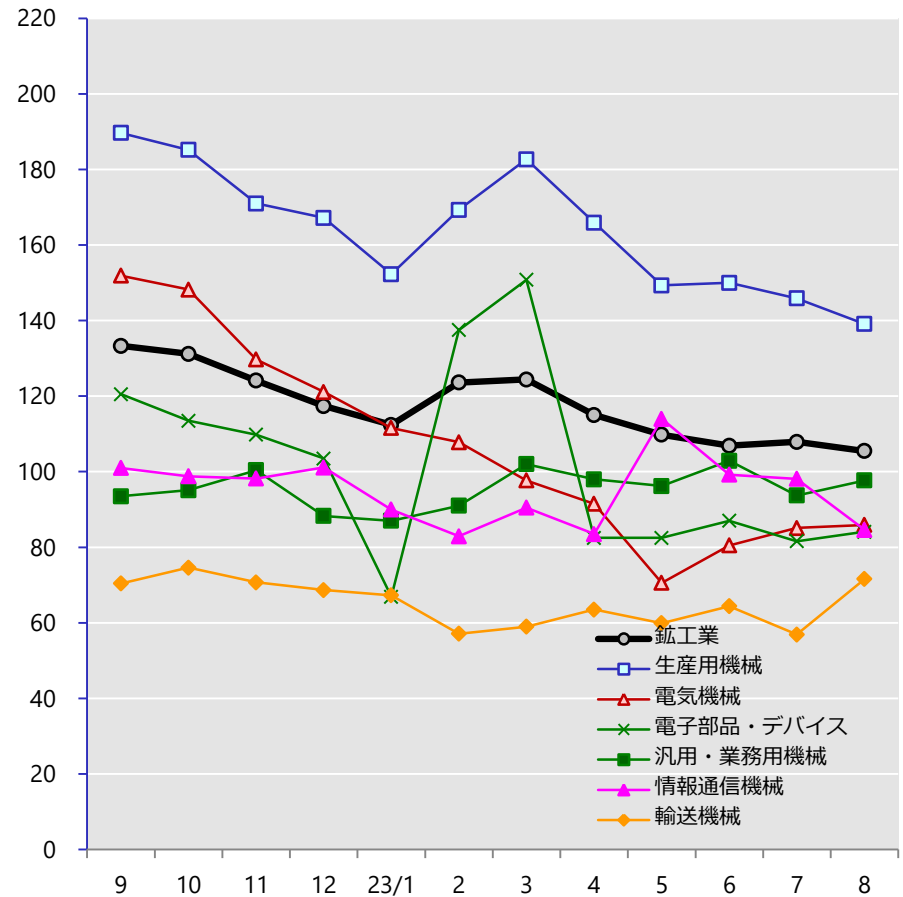
「日本銀行甲府支店」

【生産活動】

機械工業は、最終需要の低迷に伴う生産調整の影響が長期化するなかで、弱い動きが続いている。

地場産業関連は、国内需要の縮小や原材料価格の上昇など厳しい局面が続いているが、一部に回復の動きもみられる。

鉱工業生産指数（季調済、2015年=100）



「県統計調査課」

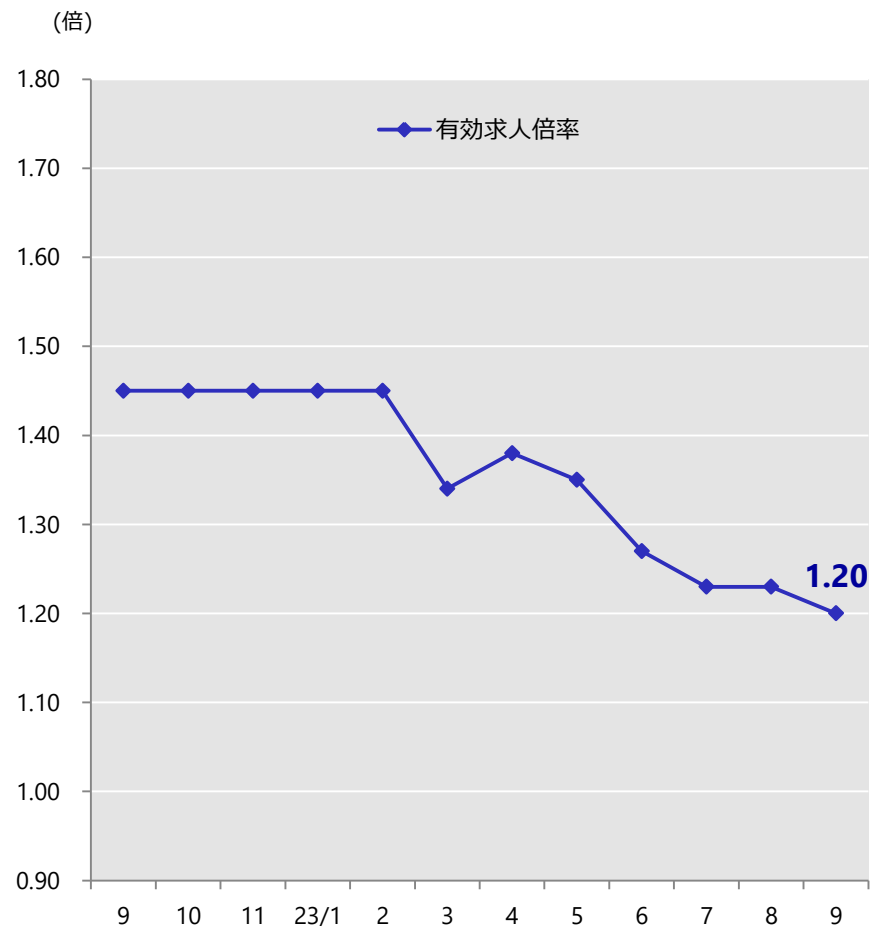
【雇用情勢】

有効求人倍率は、製造業を中心に低下傾向であるものの、依然高水準を維持している。

	山梨県	全国
有効求人倍率（9月）	1.20倍	1.29倍

「厚生労働省」

雇用情勢



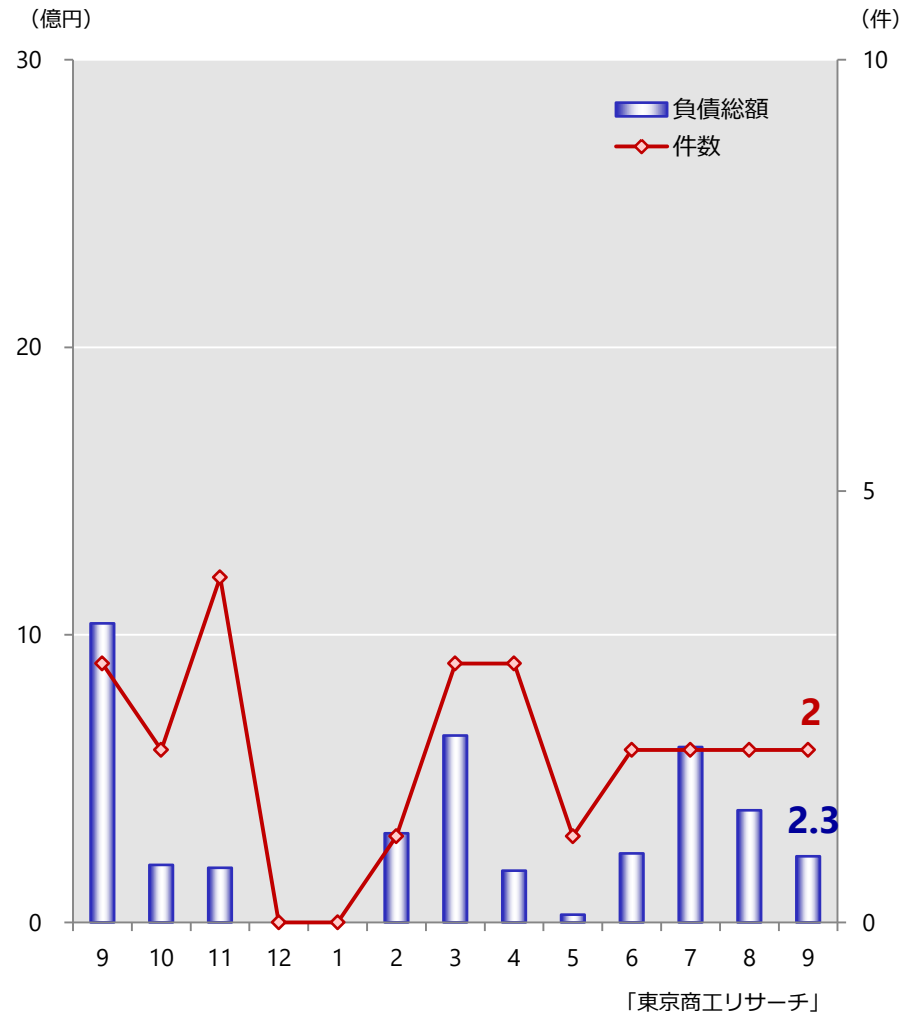
「山梨県労働局職業安定部」

【企業倒産】

2023年度上半期（23年4月～23年9月）の県内企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数が12件、負債総額が16億72百万円となった。

件数は前年同期比2件（14.3%）の減少、負債総額も同2億35百万円（12.3%）の減少となった。

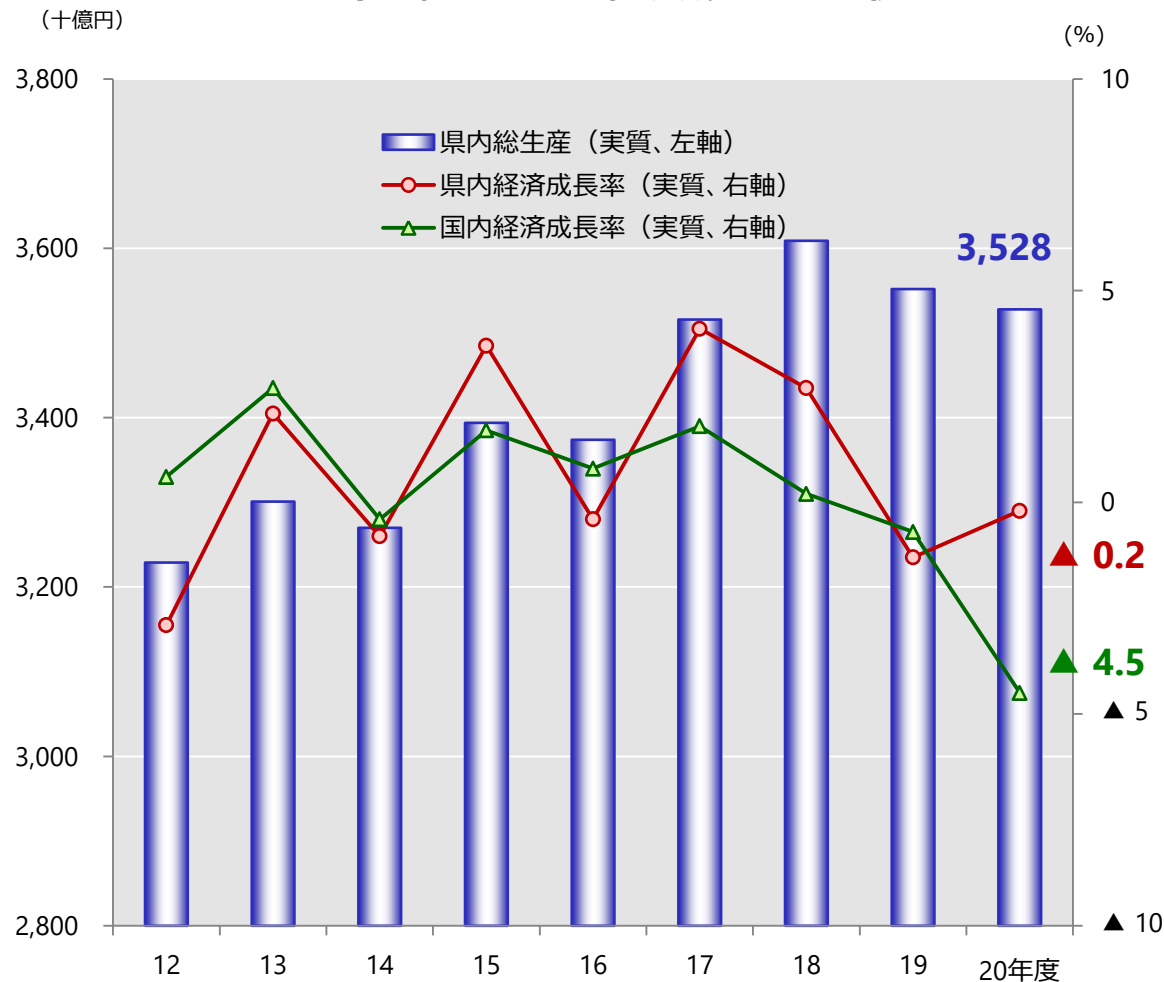
企業倒産



【山梨県経済の特性】

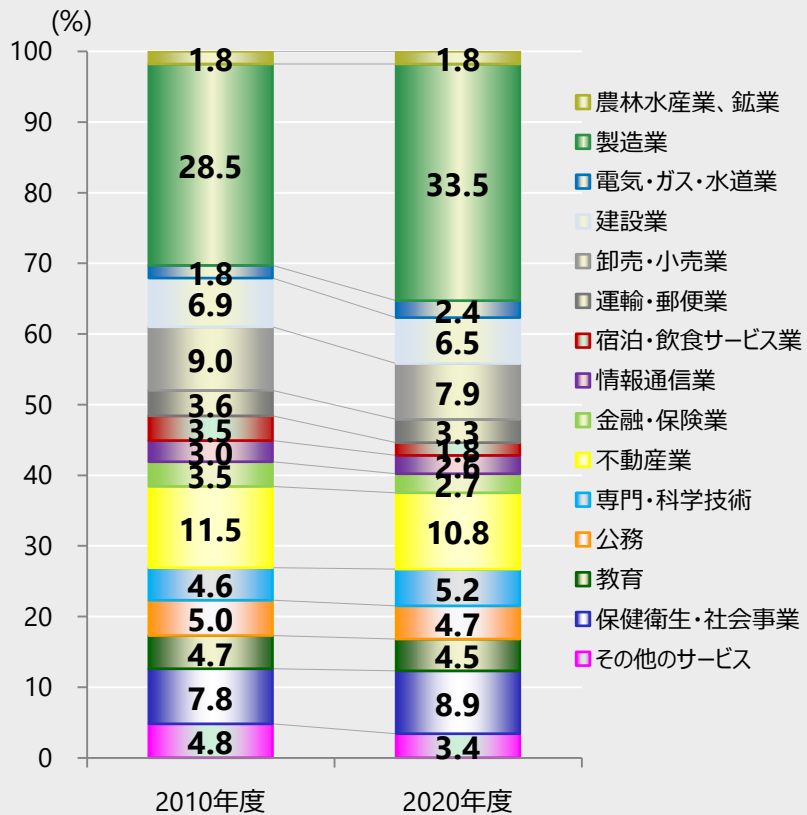
県内経済の実質成長率は、緩やかな回復傾向をたどっていたが、このところ足踏み状態となっている。

県内総生産額・経済成長率の推移



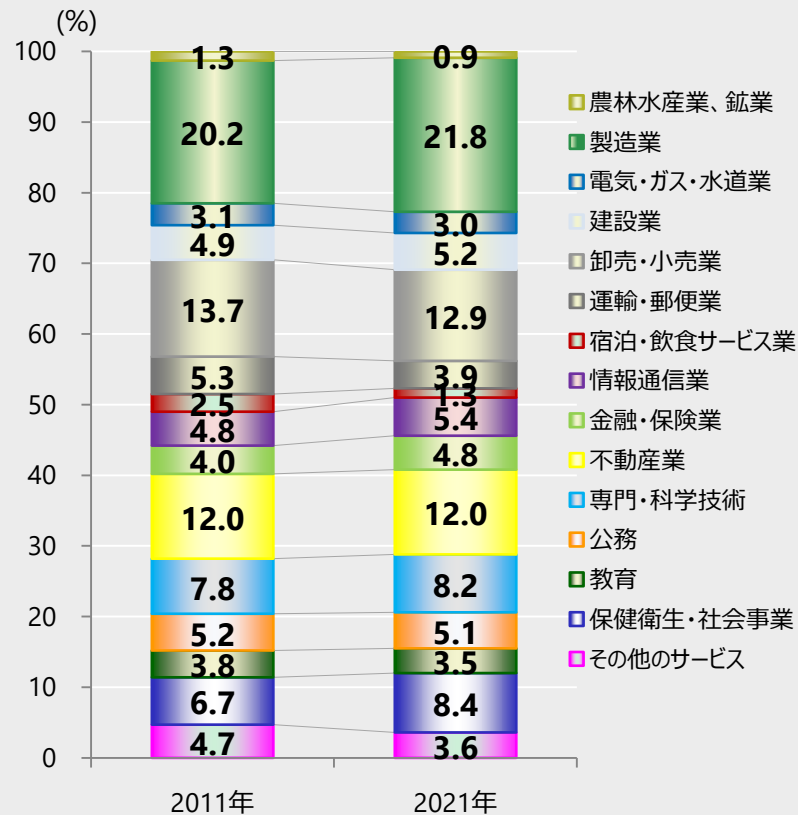
「内閣府 国民経済計算年報」、 「山梨県 県民経済計算年報」

山梨県の経済活動別県内総生産



「山梨県 県民経済計算年報」

全国の経済活動別国内総生産



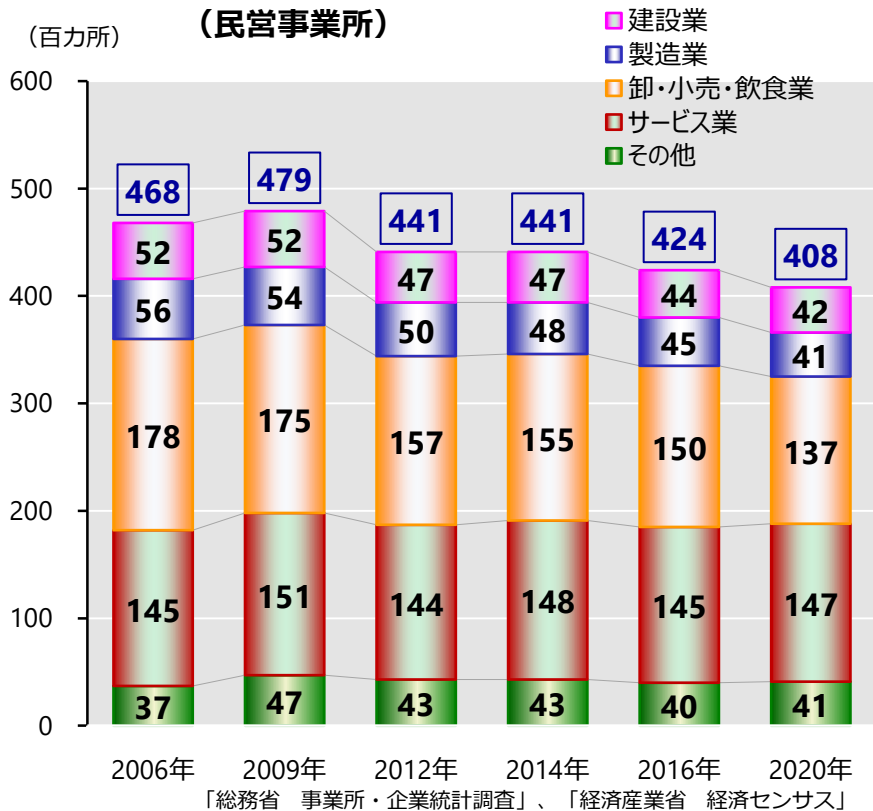
「内閣府 国民経済計算年報」

○ 産業別構成比を全国と比較すると、製造業のウエイトが高い。

※ 山梨県の数値は2010年度以前と2011年度以降で推計方法が異なっているため、連続性はない。

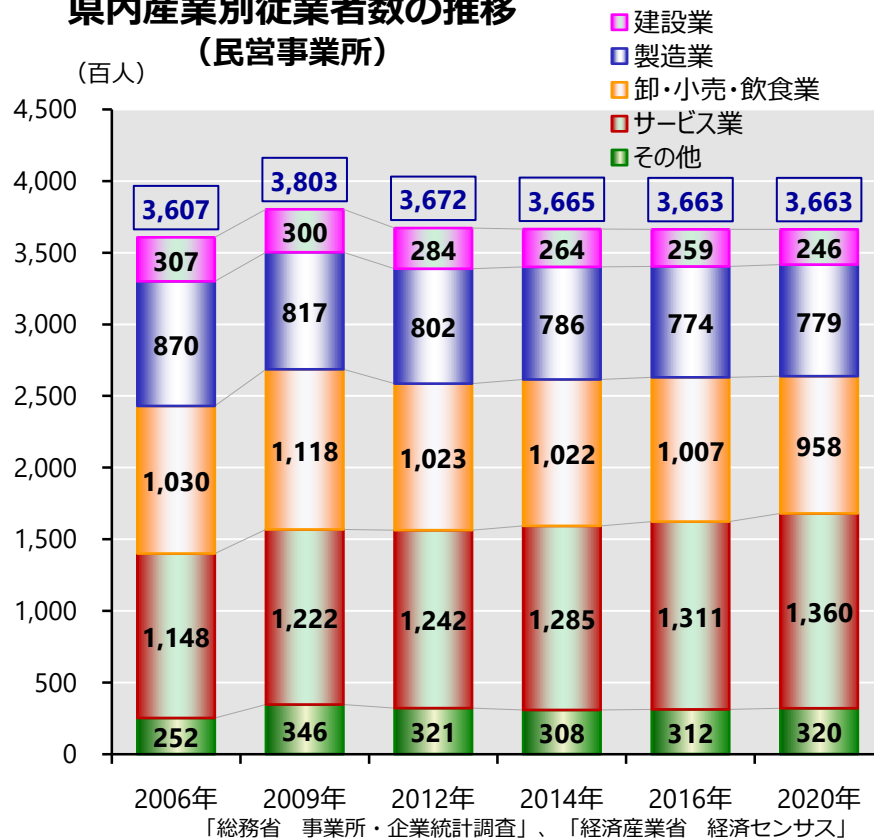
県内産業別事業所数の推移

(百カ所) (民営事業所)



県内産業別従業者数の推移

(百人) (民営事業所)



【事業所数・従業者数】

- 事業所数は、輸入品との競争による地場産業の減少や、中心市街地の衰退による小売業の減少などを要因に、1986年をピークに減少傾向。
- 従業者数は、生産効率の向上や事業所数の減少に伴う正社員の減少などを背景に、1996年をピークに減少傾向で推移していたが、足元では横ばい圏で推移。
- こうしたなか、サービス業のうち「教育・学習支援」「医療・福祉」の事業所数・従業者数が増加している。

※2009年以降は「経済センサス」の数値（事業所数、従業員数とも調査対象を拡大しており、2006年までのデータとの連続性はない）

※民営事業所とは、国及び地方公共団体の事業者所を除く事業所をいう。

【製造品出荷額等の推移】

- 山梨県の工業構造は、1982年の中央自動車道全線開通と相前後して機械工業の集積が急速に拡大し、現在では製造品出荷額等の約6割を占める。

＜製造品出荷額等＞

- 1982年：1兆834億円
→ 2021年：2兆7,111億円（150.2%増）

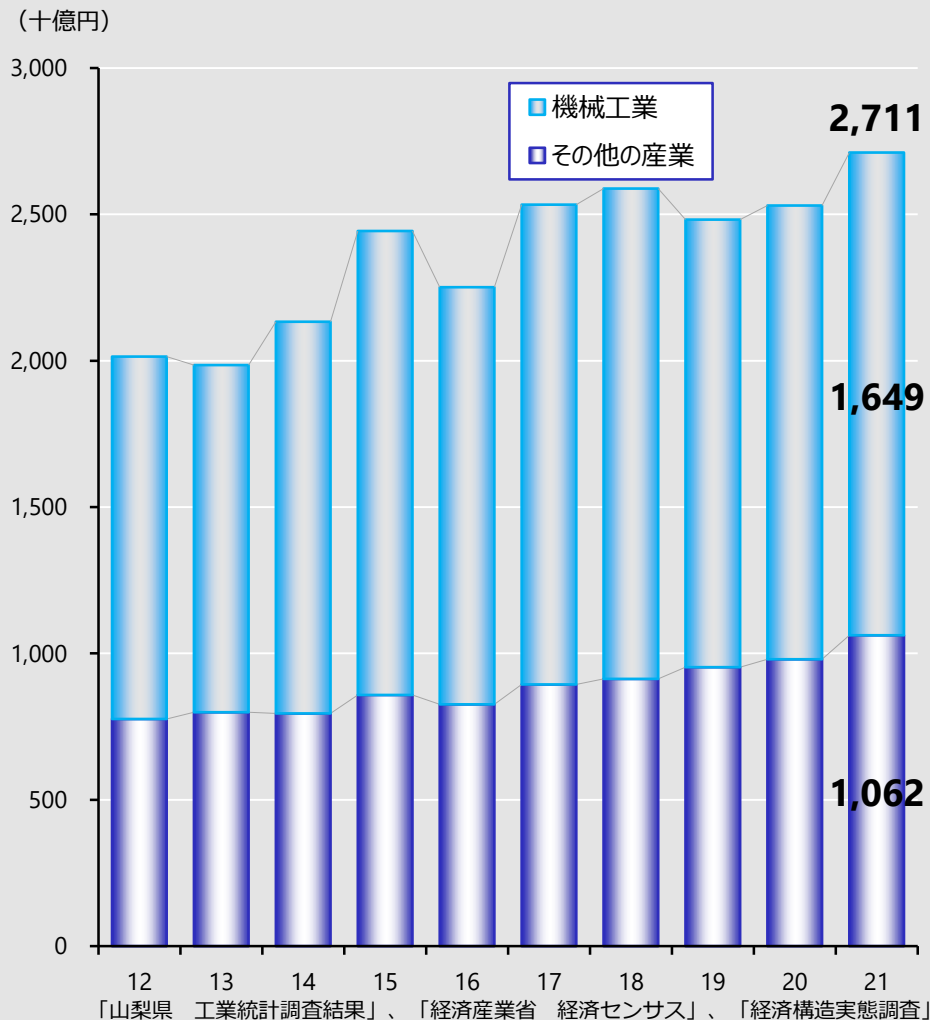
＜全体に占める機械工業の割合＞

- 製造品出荷額等に占める機械工業の割合は60.8%(2021年)であり、全国の同割合44.5%と比較して高い。

山梨県の製造品出荷額等の順位とリーディング産業の変遷

	全国順位	リーディング産業
1950年	40位	繊維
1970年	40位	繊維
1990年	33位	電気機械
2010年	33位	生産用機械
2011年	33位	電気機械
2015年	33位	生産用機械

県内製造品出荷額等の推移



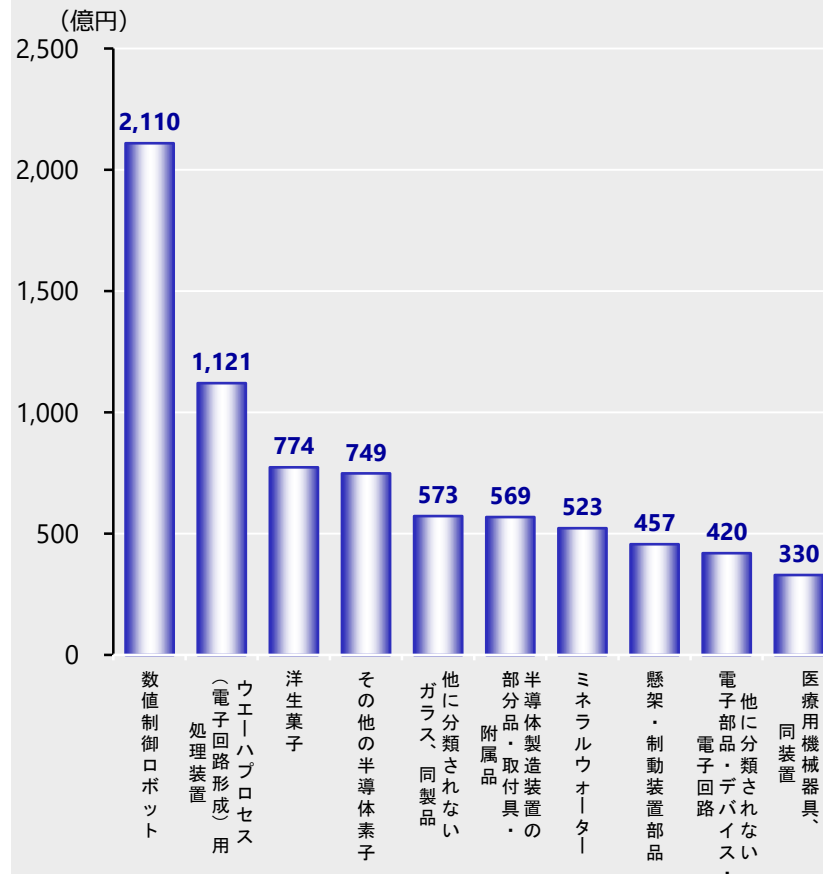
- 数値制御ロボットなど生産用機械のウエイトが高く、情報通信機器向けの各種デバイス等、最先端のIT関連産業が集積している。
- 洋生菓子やミネラルウォーターなど食料品も上位品目にランクイン。
- 中小企業の技術水準も着実に上昇。ニッチマーケットながら国内・世界市場で高シェアを獲得する企業も存在。

全国上位の生產品目（2021年実績）

品目	出荷額	全国シェア	順位
数値制御ロボット	2,110億円	70.1%	1位
ミネラルウォーター	523億円	30.4%	1位
貴金属製装身具（宝石、象牙、亀甲を含む）	281億円	28.4%	1位
巻上機	250億円	31.1%	1位

「2022年 経済構造実態調査」

製造品出荷額上位10品目（2021年）



「2022年 経済構造実態調査」

経済力基本指標				産業関連指標				生活関連指標			
項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位
総面積	2023年	4,465km ²	32	民営事業所数	2020年	40,814か所	41	家計実収入 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	2022年	588,301円	30
可住地面積比率	21年	21.3%	44	製造品出荷額等	21年	27,111億円	33				
自然公園面積比率	21年	27.1%	8	同従業員1人当たり	21年	36,709千円	24	消費支出 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	22年	322,243円	19
総人口	22年	802千人	41	年間商品販売額	20年	17,434億円	43				
世帯数	22年	368千世帯	41	同売場面積1m ² 当たり	20年	1,689千円	36	平均消費性向 (勤労者世帯)	22年	66.7%	14
年少人口比率	22年	11.1%	35	農業産出額	21年	1,113億円	29	自家用車保有台数 (軽自動車含む・人口千人当たり)	22年	685台	4
生産年齢人口比率	22年	57.4%	20	生産農業所得率	21年	36.6%	31	公立図書館数 (人口1万人当たり)	22年	0.61か所	1
老年人口比率	22年	31.5%	24	新設住宅着工戸数	22年	4,669戸	41	コンビニエンスストア数 (人口10万人当たり)	22年	56.3店	2
人口増加率	22年	△0.43%	10	新設住宅1戸当たり 床面積	22年	98.8m ²	5	住宅地平均価格 (基準地価・1m ² 当たり)	22年	23,500円	39
県内総生産額(実質)	20年度	35,284億円	39	公共工事請負契約額	22年	1,181億円	47	持家比率	18年	70.2%	15
経済成長率(実質)	20年度	△0.2%	2	建築着工物床面積	22年	759,649m ²	42	教育費割合 (勤労者世帯対消費支出)	22年	3.4%	45
1人当たり県民所得	20年度	2,982千円	11	有効求人倍率	22年	1.40倍	22	大学等進学率	22年	59.8%	13

○ 総人口全国41位、県内総生産39位など、規模的には下位に位置するが、従業者1人当たりの製造品出荷額など、単位当たりの比率で見ると中位にランク。経済活動、生活水準等は比較的良好な水準にあるといえる。